

1. 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）とは

和歌山大学にCOC+推進室が創設されたことをご存知でしょうか。これは本学が昨年、文部科学省の採択を受けて、始まった「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」を実施する部署で平成27年11月27日に設けられました。なお、COCとはCenter Of Communityの略称です。

文部科学省では、平成27年度から、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を推進する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的として「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」を実施しています。

本学も昨年度にこの事業の採択を受け、事業協働地域に魅力ある就職先の創出、開拓とその地域が求める人材育成のための教育カリキュラム改革の取組を実施するために学内にCOC+推進室を創設しました。

わが国では、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥ることが危惧されており、地方と都市圏の経済格差拡大が、都市圏への一極集中と若年層の地方からの流出を招いています。そこで、文部科学省では、地方の大学が地域の自治体や中小企業等と協働し、地域の雇用創出や学卒者の地元定着率の向上に関する計画を策定し、本事業を推進することを求めています。

そのため、本学は地域の高等教育機関や自治体、金融機関、企業等、各種機関と協働し、学生にとって魅力ある就職先を創出、開拓するとともに地域が求める人材を育成するための教育改革を実行することとし、COC+推進室にCOC+推進コーディネーター3名と支援員4名を配置し、さらに事業協働地域における新たな雇用創出と就職率向上の具体的な数値目標を設定し、活動しています。

大学等の高等教育機関の持つ教育・研究・社会貢献の各分野における力を結集させて、事業協働地域における雇用創出と事業協働地域への学生の就職率向上によって、若年層人口の都市圏集中を避け、地方創生を図ろうというのがCOC+なのです。

（次号その2 「COC+が和歌山県の人口減少を防ぐ」に 続く。）

紀の国大学HP <http://kinokuni-u.jp>

COC+推進室HP <http://cocplus.wakayama-u.ac.jp>